

2017年12月18日
環境社会配慮助言委員会委員長 村山 武彦
担当ワーキンググループ主査 虎岩 朋加

Bangladesh国ジャムナ鉄道橋建設事業
(有償資金協力)
環境レビューに対する助言

助言案検討の経緯

ワーキンググループ会合

- ・日時：2017年11月13日(月) 14:00~17:06
- ・場所：JICA 本部 (1階 111会議室)
- ・ワーキンググループ委員：谷本委員、虎岩委員、林委員、村山委員、米田委員
- ・議題：Bangladesh国「ジャムナ鉄道橋建設事業」環境レビューについての助言案作成
- ・配布資料：
 - ・環境影響評価報告書案
 - ・環境レビュー方針案
- ・適用ガイドライン：国際協力機構環境社会配慮ガイドライン (2010年4月)

全体会合 (第86回委員会)

- ・日時：2017年12月8日(金) 14:30~17:30
- ・場所：JICA 本部 (1階 111・112会議室)

上記の会合に加え、メール審議により助言を確定した。

助言

環境配慮

1. Jamuna Eco Park は保護区ではないが、その一部の区域の樹木は本事業によって伐採の対象となっているため、その歴史的背景及びその影響の程度を踏まえ、植生と連続性に配慮した代償植林計画の策定およびその生態系への影響のモニタリングを実施するよう実施機関に申し入れること。
2. カワイルカのサンクチュアリについては、JICA ガイドライン上の保護区としての視点から、サンクチュアリへの影響も確認すること。
3. EIA で示されている緩和策やモニタリング、特に野生生物（カワイルカ、渡り鳥、魚類）への影響のモニタリングを工事中、供用時とも実施するよう実施機関に申し入れること。
4. 洪水への影響は不確実な側面が多いため、必要に応じて供用時のモニタリングやステークホルダー協議の実施を実施機関に申し入れること。

社会配慮

5. 事業の実施による生計への影響について引き続き把握した上で、中州を利用した農業、漁業等への負の影響が確認された場合は対策をとるよう実施機関に申し入れること。
6. 建設キャンプにおける宿泊施設や休憩所、更衣室などの施設は男女別とする等、ジェンダーに配慮した建設キャンプの設計がなされるように監督するよう実施機関に申し入れること。
7. 労働者を対象にした苦情処理メカニズムにおいて、セクシャル・ハラスメントや性暴力に関する申し立てが可能であることを労働者に周知するよう実施機関に申し入れること。
8. 地域住民と他地域から流入する労働者との衝突のリスクを想定し、地域住民を建設労働者のための訓練プログラムに招待したり、労働者と地域住民との定期的な意見交換会を開催する等、リスク緩和のための方策を作成するよう実施機関に提案すること。
9. 労働者のみならず、地域住民に対しても HIV/AIDS/STDs 予防啓発プログラムを実施するよう実施機関に申し入れること。

10. 人身事故や家畜の事故を防止する観点から、ステークホルダー協議において住民から要望があった鉄道敷へのフェンスや注意喚起のための標識の設置といった安全対策を講じるよう実施機関に申し入れること。

以 上